

多文化社会日本の課題ー多文化関係学からのアプローチ



目次

序章 多文化社会日本と多文化関係学的アプローチ（久米昭元、松田陽子、抱井尚子）

第1章 現代日本社会の3つの課題 多文化関係学6眼3バランスの視点から（林吉郎）

第2章 多文化共生活動における差異・共通性・パワーの認識 在日コリアン高齢者識字活動参加者への聞き取り調査から（猿橋順子）

第3章 ブラジル人児童と多様化する教室のマイノリティー（森田京子）

第4章 日本の教育現場における外国語指導助手と日本人教員の関わり 多文化共生の視点からの一考察（大谷みどり、築道和明）

第5章 コミュニケーションの平等と国際共通英語 英語教育の改善に向けて（伊藤明美）

第6章 外国人・帰国児童生徒に対する教育支援の在り方 NPOの媒介的機能に関する考察（千葉美千子、パイチャゼ・スヴェトラナ、杉山晋平）

第7章 多文化組織におけるコミュニケーションと日本人リーダー（石黒武人）

第8章 海外駐在日本人社会と新型インフルエンザ 新型インフルエンザ集団感染下における噂（清水・ベージェ）

第9章 「韓流」再考 韓流ドラマの感情移入的視聴による偏見軽減効果の検証をもとに（長谷川典子）

第10章 中国社会のマスメディアと日本のイメージ 現実との「ズレ」はどのようにして生じるのか（花澤聖子）

第11章 中国の"法から身を守る文化"によって醸成された言動・行動様式（三瀧正道）

終章 多文化関係研究・教育を学術的分野に発展させるための潜在的課題（石井敏）

あとがき